

ナイジェリア・ポップカルチャー ミッション派遣

実施要項

2025年9月

ジェットロ・ラゴス事務所

1. 実施概要

名称	ナイジェリア・ポップカルチャーミッション派遣
時期	2025年11月13日(木)～16日(日)
視察先	ナイジェリア・ラゴス
目的	日本のソフトパワーの原動力である熱狂的なファンコミュニティとクリエイターにおける消費活動やニーズを可視化し、日本企業等によるビジネス展開の方策を探るきっかけを提供すること
主な対象	ナイジェリアの若年層市場の取り込みに関心のある映像制作企業や販路開拓を目指す日本企業の皆様
参加費	無料 ※航空券・ホテル宿泊代等は各自手配。
言語	日本語・英語(ナイジェリア公用語)
形式	現地集合・現地解散型
主なプログラム内容	・ラゴス国際見本市(ジャパンパビリオン)のデモデーの実施 ・ラゴス市内のクリエイティブ産業関係者らとのネットワーキング
主な参加特典(ジェットロ対応)	・日本語によるオリエンテーション ・ジェットロ職員による全行程の日程調整・同行 ・行程中の交通手段手配、ラゴス空港・ホテル間の送迎(希望されない場合を除く) ・ナイジェリア入国ビザ取得に必要な招聘状の発行 ・渡航・安全情報の提供

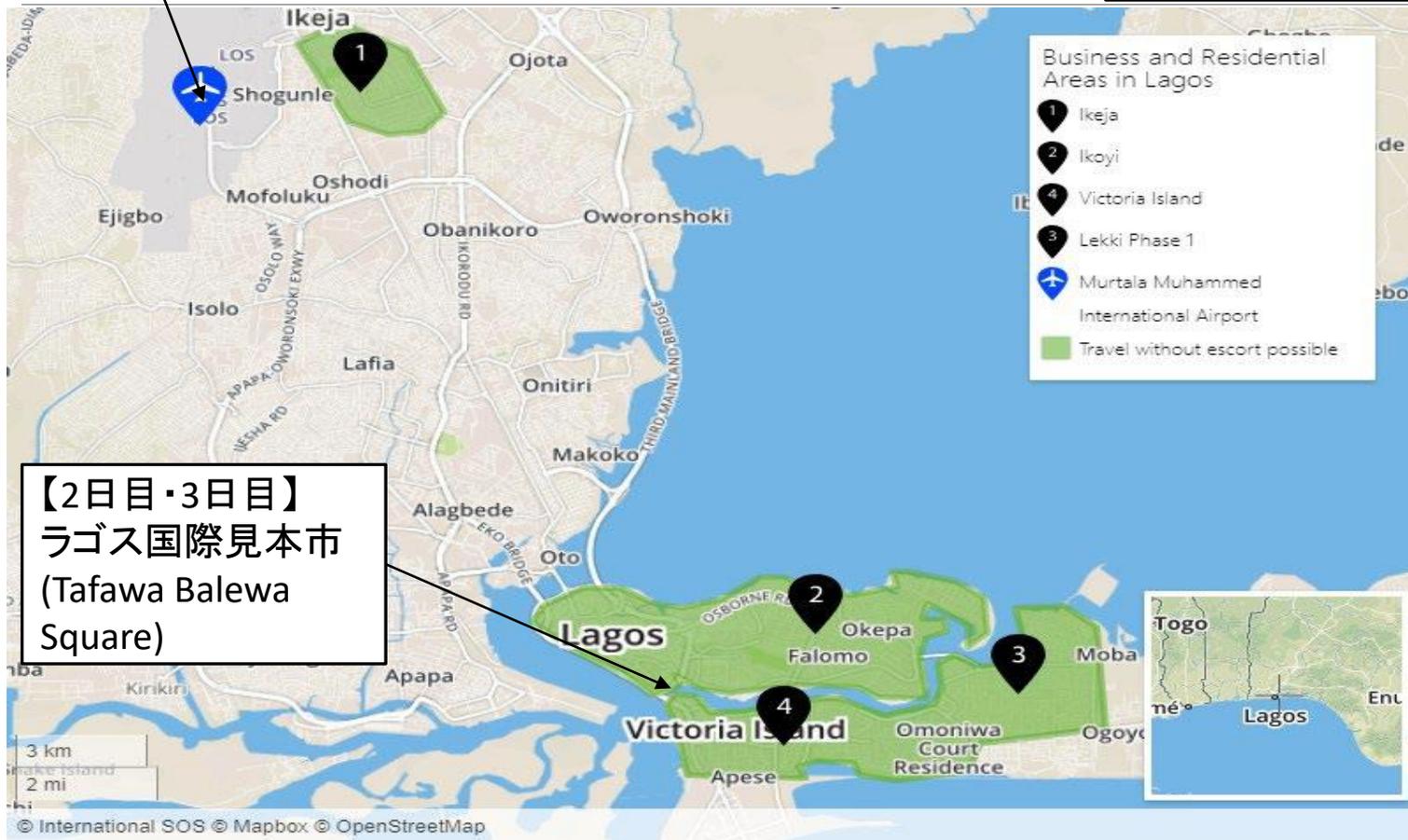
2. 視察ミッション行程(想定)

11月12日(水)	11月13日(木)	11月14日(金)	11月15日(土)	11月16日(日)
 →ラゴス着 ※現地集合	午前: ブリーフィング および企業視察 (調整中・ラゴス市 内) 午後: 「ラゴス国際見本 市」(ジャパンパビ リオン)	終日 「ラゴス国際見本 市」でのデモデー の実施 夕刻: 関係者らとのネット ワーキングイベン ト(ラゴス市内)	終日 「ラゴス国際見本 市」でのデモデー の実施	 ラゴス発
【ジェット口手配・負担】				
<ul style="list-style-type: none"> ・移動車両 (空港→ホテル) ・空港内移動補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動車両 (ホテル⇄移動先) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動車両 (ホテル⇄移動先) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動車両 (ホテル→空港) 	<ul style="list-style-type: none"> ・移動車両 (ホテル→空港) ・空港内移動補助
【参加者の各自手配・負担】				
<ul style="list-style-type: none"> ・航空券 ・飲食代 ・ホテル宿泊 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・ホテル宿泊 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食代 ・ホテル宿泊 	<ul style="list-style-type: none"> ・航空券 ・飲食代 	<ul style="list-style-type: none"> ・渡航雑費

2. 視察ミッション行程(地図)

ラゴス国際空港

2回目安全対策審議にて
視察先およびネットワーキング
会場を決定の上反映



4. ナイジェリア入国ビザ・黄熱病予防接種

■査証取得のための招聘状

ナイジェリアの入国には査証(ビザ)が必要です。ビザの申請は所在地のナイジェリア大使館もしくは電子査証(E-visa)のいずれかを選択ください。

ビジネス・ビザ申請にあたって必要となる招聘状はジェットロから発行しますので、ご出張スケジュール、パスポート情報および海外旅行保険の加入状況を示す証書の写しをご準備の上、ビザ申請の1週間前までにジェットロまでご連絡ください。

招聘状の発行希望のジェットロ宛連絡期限は2025年9月30日(火)です。

電子査証(E-Visa)の申請ポータルサイト:
<https://evisa.immigration.gov.ng/>

■黄熱病の予防接種

入国時に、黄熱病の予防接種証明書(イエローカード)の提示が求められます。入国10日前までの接種が必要です。接種可能な機関が限られますのでご注意ください。

5. 宿泊先ホテル(参考)

宿泊先ホテルは安全対策の観点から「Lagos Continental Hotel」とします。万が一満室等の理由で宿泊ができない場合、安全性の確保されたラゴス市内の主要ホテルは以下の通りです。

1. Park Inn by Radisson Serviced Apartments Lagos Victoria Island

<https://www.radissonhotels.com/en-us/hotels/park-inn-apartments-lagos-victoria-island/contact>

2. Nordic Hotel Lagos <https://nordichotelsnigeria.com/nordic-hotel-lagos/>

3. Radisson Blu Lagos <https://www.radissonblu.com/en/hotel-lagos>

4. Eko Hotels & Suites <http://www.ekohotels.com/>

5. The Wheatbaker Hotel <https://thewheatbakerlagos.com/>

6. FOUR POINTS BY SHERATON LAGOS <http://www.fourpointslagos.com/>

7. Mövenpick Hotel Ikoyi Lagos <https://www.southernsun.com/southern-sun-ikoyi>

6. 現地の安全情報(1)

■現地安全情報の確認と「たびレジ」登録(必須)

外務省の「海外安全ホームページ」にて事前情報を収集願います。また、渡航先の安全情報がメールで届くサービス、「たびレジ」へ必ずご登録願います。外務省の「たびレジ」は、テロ事件や大規模な災害等の緊急事態発生時に、登録された電話番号や宿泊先をもとに安否確認を行い、必要な支援が行われます。

・外務省「海外安全ホームページ」 <https://www.anzen.mofa.go.jp/>

・外務省 たびレジ <https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

■ナイジェリア滞在中は、次のような防犯対策にご留意ください。

- ・早朝、夜間の外出は避ける。
- ・目立つ服装や行動をしない。
- ・多額の現金・貴重品は持ち歩かない。
- ・移動の際には人込みを避け、防御壁となるものを見つける習慣をつける。
- ・宿泊先やレストラン等では、非常口や退避ルートを確認する。
- ・夜間・深夜の発着便を利用する場合は、警備会社のエスコートサービス等を手配する。
- ・タクシー、バスの利用は、犯罪に巻き込まれる危険性が高いため、利用しない。
- ・些細なことから暴動に発展するおそれがあることから、宗教施設や市場(見本市会場周辺含む)、その他人が多く集まる場所には、不用意に近寄らない。
- ・陸路での長距離移動はできる限り避ける。
- ・車での移動は、単独車両ではなく、複数車両で行動するのが望ましい。
- ・万が一、武装強盗に遭った場合には、生命の安全を第一に考え、決して抵抗しない。

6. 現地の安全情報(2)

■万が一、盗難に遭ってしまったら・・・

- ・24時間以内に警察へ通知する。
- ・(財布の盗難にあった場合)クレジットカードを差し止める。
- ・パスポートの再発行、保険求償を行う場合は宿泊先近くの警察に被害届を提出する。
- ・主催者の遺失物届出窓口(Lost and Found)に紛失物の届け、および見つかった場合の連絡先を渡す。
- ・パスポート盗難については、帰国渡航証明が大使館領事部から発行される。発行に必要な書類は、本人が直接領事部に連絡して確認する必要がある。

■紛失・盗難等したパスポートを失効させるために必要な書類

- ・一般旅券等届出書1通(各公館から入手)
- ・紛失届受理証明書(現地警察署から入手)
- ・罹災証明書(現地消防署から入手)
- ・写真(4.5cm X 3.5cm)1葉
- ・本人確認表(運転免許証等)

■紛失・盗難した後のパスポート又は帰国のための渡航書発給申請に必要な書類

- ・一般旅券又は渡航書発給申請書1通(各公館から入手)
- ・戸籍謄本又は抄本1通(申請日前6ヶ月以内に発行されたもの)
- ・写真(4.5cm X 3.5cm)1葉
- ・その他参考書類(帰国日程が確認できる航空券。必要に応じて本人確認、国籍確認が出来るもの)。

6. 現地の安全情報(3)

■ラゴスにおけるテロのリスク

ラゴスでは近年、大規模なテロ攻撃の発生は確認されておらず、同市における外国権益を標的とした国際テロ組織による攻撃の脅威は低いとみられます。

しかし、ナイジェリア北東部を拠点とするイスラム過激派集団「ボコ・ハラム」は同国でテロの脅威をもたらす集団の一つであり、ナイジェリア南部の政府機関などへ攻撃を仕掛ける意図を表明しています。ラゴスはボコ・ハラムの拠点から離れていることから、大規模な攻撃を仕掛けることは難しいとみられていますが、単発的な攻撃が発生するリスクは依然として残っています。ボコ・ハラムが攻撃を仕掛ける可能性のある標的としては、政府系機関、重要インフラ、警察や治安部隊の関連施設、娯楽施設、教育施設、宗教施設などが挙げられます。これらの施設での滞在は最小限にし、不審な人物、車両、物などを見つけたら速やかにその場を離れてください。

■テロ等事件が起こった時の対応策

テロ事件に対し、遭遇を100%防ぐことは不可能ですが、事前に対策を講じておくことで、遭遇の確率を限りなく低くする、また万が一遭遇した際の被害を最小限に留めることが重要です。標的となりやすい場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全対策に十分注意を払ってください。

■万が一、テロが発生したときの行動

・会場外では周囲の状況に注意し、異変を感じた場合はためらわず引き返す、または一時的に頑丈な建物等に身を寄せて状況を把握する。

・外出先・ホテル等で不審者や不審物・不審車を発見した場合、速やかにその場を立ち去る。

・ホテルの入口、フロント等、不特定多数の人が簡単に立ち入ることができる場所では滞在時間をできるだけ短くする(集合する際は、ロビーを避けて宿泊階のエレベーターホールにするなど、細かい点を工夫する)。

・ガラスを多用している建物にはできるだけ近寄らず、または滞在しないようにする。

・滞在先のホテルでは通りや繁華街に面した部屋はできる限り避けた方が良いが、通り等に面した部屋になった場合には、3階以上の部屋に宿泊するとともに、カーテンを引いて閉めておく等、屋外で路上での爆発の被害を最小限に留められるようにする。

7. 緊急連絡先(病院)

■病院(ラゴス市内):

1. Evercare Hospital Lekki

1 Admiralty Way, Biola Durosinmi Etti Dr, Lekki Phase 1, Lagos, Nigeria

TEL: +234 813 985 0710 <https://www.evercare.ng/>

2. The Armoured Shield Medical Centre (※ICUベッド完備)

15 Waziri Ibrahim Cres, Victoria Island, Lagos, Nigeria

TEL: +234-12 715 3413, +234 812 800 8187

3. Reddington Hospital (※PCRテスト受診可、24時間対応可能ER有り)

12 Idowu Martins Street, Victoria Island, Lagos, Nigeria

TEL : + 234 916 535 9769 , +234 12 715 344/3/2/1/

<https://reddingtonhospital.com/>

7. 緊急連絡先(事務局、公的機関)

■ ジェトロ・ラゴス事務所:

奥(携帯) +234-913-408-9917 (WhatsApp連絡可)

柴田(携帯) +234-702-579-7871 (WhatsApp連絡可)

アヌサ(携帯/英語のみ)+234-803-301-6172 (WhatsApp連絡可)

■ ナイジェリア警察: 199

■ 在ナイジェリア日本国大使館(在アブジャ):

521 Gana St, Maitama, Abuja

TEL: +234-9-461-2713、 2714、 3289、 3290

8. 注意事項・免責事項

■ 注意事項

- 本ミッションは現地集合・現地解散型です。集合場所(ラゴス)までの往復移動手段(航空券等)、飲食代、宿泊代等は参加者ご自身で手配のうえ、費用も自己負担となります。また、手配・支払いに関するトラブル等についてジェットロは一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 本事業中、面談した企業等から寄せられた引き合いなどについては、各参加者にてご対応ください。
- 申し込み時にいただいた情報及び今後のミッションで得られた情報は、日本国の個人情報保護法令及び各国の同様の法令を遵守のうえ、本ミッションの円滑な遂行の目的及び事業、政策の分析、調査、評価の目的で、これを利用するものとし、また、同様の目的で、本ミッションに係る手配を行う旅行代理店、ナイジェリアの訪問先等の本事業関係者及び／又は政府関連の機関に事前又は事後に共有させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- ミッション期間中、メディアの取材が入る可能性があります。あらかじめご了承ください。
- 現地企業との交流に必要な備品や資料等については各参加者にてご準備ください。
- 本事業の成果把握などのためにジェットロが実施するアンケート等に必ずご協力ください。ご協力いただけない場合、次回以降のジェットロ事業へのご参加をお断りする可能性がございますので予めご了承ください。
- 参加者の企業名や本事業結果および各種調査結果について公表させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本案内書に記載されている視察先等の詳細については、決定次第、別途ご連絡します。なお、直前まで変更の可能性がありますので、予めご了承ください。

8. 注意事項・免責事項

■注意事項

- 現地では日本と比較して治療費・入院費が大変高額となるケースがありますので、不測の事態に備え、100%カバーされ、キャッシュレスで受診することのできる海外旅行傷害保険への加入するようお願いいたします。なお、クレジットカードなどに付帯されている海外旅行傷害保険のみでは全額はカバーされない恐れがありますのでご注意ください。日本との時差、気候の違いを考慮の上、体調管理を万全にし、ケガ・病気などには十分ご注意ください。
- ジェトロでは、ミッション期間中に発生した参加者に係る携行品盗難、損壊その他の損害、受傷、疾病その他の治療費用などについて一切負担できません。
- 本ミッションの全日程において、安全対策、避難、感染対策や隔離等、現地政府やジェトロの指定する安全確保、防疫の措置やルールの順守にご協力いただく事をお申し込みの条件とさせていただきます。
- 参加者は、本ミッションにおいて感染症の予防対策を徹底し、かつ、感染症の疑いのある者又これらの者との濃厚接触者は本ミッションに参加させないでください。万一、感染症の疑いのある者又はこれらの者との濃厚接触者が本ミッションに参加したことが判明した場合には、直ちにジェトロに報告し、その指示に従っていただきます。
- ジェトロからご参加確認及び催行決定の通知を受け取った後に、航空券等の手配を開始いただくようお願いいたします。ただし、決定通知が発出された場合であっても、ジェトロは、安全対策、感染対策等の諸般の事情に鑑み、催行をキャンセルすることができ、その場合であっても、ジェトロは一切の責任を負わないものとします。
- 現在、反社会的勢力(反社会的勢力の定義等は、ジェトロの「反社会的勢力への対応に関する規程」)に該当せず、かつ、関係を有しないこと。また将来にわたっても反社会的勢力との関係を持つ意思がないことを条件とします。
- 本申込書に関する法律関係及び派生する権利義務は、日本国の法律に準拠します。
- 本申込書に関する法律関係に起因又は関連して紛争が生じる場合には、東京地方裁判所をもって、第一審の専属的合意管轄とします。

8. 注意事項・免責事項

■免責事項

- 戦乱、暴動、天災地変などにより本ミッション参加者が死傷し又は携行品が損壊した場合であっても、ジェットロは一切責任を負いません。
- 戦乱、暴動、天災地変、現地の運送、宿泊機関等の旅行サービス提供の中止、官公署の命令、勧告その他、現地情勢等の急な悪化や変更など諸般の事情に鑑み、ジェットロが本ミッションの中止又は延期を判断した場合において、予約されたホテル、航空券等のキャンセル料等の経費その他の損害をジェットロが補填することはいたしません。
- 本ミッションは、参加者の安全・健康の確保について確認がとれた状況下での開催を前提としています。外務省による治安情勢等の変化による渡航中止や退避の勧告に必ず従います。なお外務省による勧告によらずとも、現地政府の要請や現地情勢等の急な悪化や変更など諸般の事情に鑑み、ジェットロの判断により中止又は延期となる場合やその他の事由により実施できなくなる可能性がありますので予めご承知おきください。
- 新型コロナウイルスおよびその他疫病の感染拡大防止策として開催地への入国や本ミッションへの参加に関し、ワクチン接種等の新たな義務や条件が追加された場合等、申込者の責めに帰することのできない事由により参加できなくなった場合においても、一切の損害（航空券代等のキャンセル料を含みますが、これに限られません。）については、ジェットロはこれを負担しません。
- 本ミッション参加中に体調不良となった場合、現地での感染防止対策、情報提供に関しまして、ジェットロは最大限のサポートはさせていただきますが、現地での新型コロナウイルス感染症への感染・発症リスク、現地での治療・隔離措置などに伴う滞在期間延長またはその他の不測の事態に伴いかかる費用・損失などに関しては一切補償できませんことをご承知おきください。
- 本免責事項に明示的に定めるほか、ジェットロは本ミッションに起因又は関連する損害について、ジェットロに故意又は重過失がない限り、一切の責任を負わないものとします。